

水が世界中で使えるように

喜界町立喜界中学校 二年 市山 いちやま 綾乃 あやの

みなさんにとって水はどんなものですか。私にとって水は、生きるためには必ず必要なものだと思います。しかし、きれいな水を飲めない人もいます。そんな中、水道水を出しっぱなしにしたり、無駄に使うこともあるので、水の大切さについて考えたり調べてみることにしました。

まず、地球上にある水の中で人が使える水は、たったの〇・〇パーセントだけと言うことが分かりました。私たち日本人は水に困ることがほとんどないけれど他の国ではそうではないことが分かります。世界では約十二億人が安全な飲料水を確保できていません。また、汚れた水が原因と考えられる病気で八秒に一人、子供が亡くなっていると言われていきます。私は、それを知ってとても衝撃的でした。そこで私は、きれいな水が飲めない人のためにできることは何かあるかを考えまし

た。そこで思いついたことは、ユニセフ募金をすることです。ユニセフ募金に協力をすれば、井戸ができて、水くみで学校に通えなかった子供たちが学校に行くことができたり、きれいな水なので病気にかかりにくくなり、石けんを使った手洗いなどの衛生習慣が身についたり、他にもたくさんの方に役立たせることができます。今はまだたくさんの方が安全できれいな水を手に入れることができいていません。だから、募金をする機会があるときに少しだけでもみんなに協力をしてもらって私も進んで募金をしていきたいと思えます。いつか、世界中の人たちが安全できれいな水を使えて、水が原因で亡くなってしまいう子供たちが減っていくようにしたいです。私たちが勉強をしている時も、今この時間も水くみをしている人がいると思います。朝早くから夕方近くまで暑い砂漠を一日中歩いて水をくむ人もいます。毎日八時間も水くみに費やして、世界中の女の子や女性たちが水

くみに費やしている一日当たりの時間の総計はなんと二億時間です。こんなにたくさんのは時間や体力を使っているのに、手に入る水は一人あたりたったの五リットル未満の茶色水だけです。私が水をくむ人だったら辛すぎてたえきれないと思いました。

私は、今まで募金をしていたけど、どんなことができるか少ししか分かっていなかったけど、改めて募金について知ることによって募金のすごさや意味を考えられました。そもそも水は、無限にあるわけではありません。なので、水は大切にしておいて、毎日水をくみに行く人のことも忘れないでほしいです。水の大切さや水に困っている人のための募金についてみんなに分かってほしいです。そして、安全できれいな水が世界中の人たちが見えるように願っています。

水は生きるために必ず必要なので、安全できれいな水を使えるようにしてほしいです。そのため私たちが募金に協力して、困って

いる人を助ける救世主になりたいです。そして、世界中の人が笑顔で、子供がしっかりと勉強できる環境を募金をしてつくっていきたいです。

水は、どんなことにも関わりがあると思うので、今後もたくさん水について知りたいと思いました。世界中で、みんなが幸せなくらいができるように私も少しでも協力するようにして、協力できる人は協力して世界中が笑顔で、水を大切にできるようになってほしいです。